

# 環境活動レポート

## 環境活動レポート



株式会社 リペア

(平成 21 年 9 月～平成 22 年 8 月)

作成日 平成 22 年 9 月 20 日

## 《目次》

1	事業概要	P-1
2	環境方針	P-2
3	環境目標とその実績	P-3
4	主な環境活動計画	
5	環境活動の取組計画と評価	P-4
6	環境関連法規制の遵守	P-5
7	許可内容	P-6
8	受託した廃棄物量	P-7
9	EA21 推進体制	P-8
10	代表者による全体の評価と見直し	P-9

## 1. 事業概要

### ◆事業者及び代表者名◆

株式会社リペア  
昭和56年9月10日設立  
代表取締役 植田慎一郎

### ◆所在地 株式会社リペア◆

〒702-8002  
岡山県岡山市中区桑野 480-10

### ◆環境保全関係の責任者及び担当者連絡先◆

責任者 環境管理責任者 (植田慎一郎)  
担当者 環境管理事務局 (植田 由美)  
連絡先 TEL 086-274-1488  
E-mail repair.s-u@ce.wakwak.com

### ◆事業の内容◆

再生資源物及び廃棄物の収集運搬業 (積替え保管あり)  
積替保管施設 面積 72.6 m<sup>3</sup> 保管上限 97 m<sup>3</sup>

### ◆事業の規模◆

資本金	1000 万円
事業年度	9月1日～8月末日
従業員数	10人 (パート含む)
事業所延床面積	1,421.18 m <sup>2</sup>
受託費用	見積もりによる (無料見積り、サンプルで査定)

## 2. 環境方針

### 【基本理念】

株式会社リペアは、再生資源物及び廃棄物の収集運搬業者として、環境に配慮した収集運搬業務に心がけ、かつ再生資源物及び廃棄物のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、以下の環境行動方針を定め、全ての事業活動を通じてその実現に取り組みます。

- 1 事業活動において、関係する法令・規制などを守り事業にあたります。
- 2 事業活動の全てにおいて、環境保全に努め、省資源・省エネルギー・水資源の節減等、環境循環に配慮した事業活動を図るよう努めます。
- 3 排出事業者に対して、情報提供や分別、リサイクル等の指導を行い、廃棄物の削減に努めます。
- 4 環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、環境マネジメントシステムの継続改善につなげていきます。
- 5 環境方針及び環境目標、環境活動については、全社員に周知するとともに、社外のもとめに応じて開示します。

制定日 21年8月10日

株式会社リペア

代表取締役 植田慎一郎

### 3. 環境目標とその実績

○環境負荷の現状

表-①

21年9月～22年8月

	単位	使用量	CO <sub>2</sub> (kg-CO <sub>2</sub> )/年	割合
電力量	kwh	11,190	4,230	15.36
軽油	ℓ	7,601	19,949	62.31
ガソリン	ℓ	4,819	11,190	22.33
CO <sub>2</sub> 合計			35,369	100
	単位	排出量		
廃棄物	t	142.080		
水	m <sup>3</sup>	61		

### 4. 主要な環境目標と環境負荷・実績

長期的にはリサイクル率 100%を目標とし、以下の環境目標を設定しました。

環境目標各項目とも基準年度比 1%ずつ削減を目指します。

表-②

(売上1千万円あたり)

環境目標	20年度 基準値 (実績)	H21年度		H22年度		H23年度	環境活動計画 実施事項
		目標 1%削減	実績 9月～11月	目標 2%削減	実績 9月～8月	目標 3%削減	
二酸化炭素 排出量の削減 (kg/1千万円)	9,454	9,360	6,600 (▲30%)	9,265	8,842 (▲5%)	9,170	①照明不要時のOFF推進 ②エアコン清掃の実施 ③エコドライブ推進 ④社用車の点検・整備
廃棄物排出量 の削減 (t/1千万円)	39	37	27 (▲31%)	38.2	36 (▲6%)	37.8	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④マニフェスト管理方法の確立 ⑤裏紙使用ルールの徹底
水資源投入量 の削減 (m <sup>3</sup> /1千万円)	12.3	12	13 (△6%)	12	15 (△25%)	11.9	①毎月のメーターの確認 ②節水

\*20年度の基準値と21年度の目標値と実績値は各年の9月～11月の3カ月のデータを年間値としたものです。

## 5. 環境活動計画の取組と評価

○2010年9月～2011年8月の1年間の活動の取組と評価

<p>1. 二酸化炭素排出量の削減          [目標] 前期に対し2%削減  <b>目標の達成状況: 5%減</b></p>	<p>コースの見直しで走行距離の短縮ができた。          不用照明の消灯・エアコンの温度設定の徹底により節電を徹底することができた。          今後も二酸化炭素排出量の削減に努めます。</p>
<p>2. 廃棄物排出量の削減          [目標] 前期に対し2%削減  <b>目標の達成状況: 6%減</b></p>	<p>排出事業者へ分別の提案をすることにより、廃棄物種類各品目とも全体的に削減できた。今後も継続して廃棄物削減に取り組みます。</p>
<p>3. 水資源投入量の削減          [目標] 前期に対し2%削減  <b>目標の達成状況: 25%増</b></p>	<p>社員全員の節水意識は環境マネジメントシステムの導入より高まっているが、今期は真夏の猛暑日が続いたため、熱中症予防にはやむを得ない状況であった。今後も節水を徹底し目標達成率を高めます。</p>

○主な環境活動内容

- ・資源節約の為、受託廃棄物のリサイクル率100%を目指します。
  - ① 排出者への分別等の提案
  - ② 廃プラスチック・ガラスのリサイクルの向上
  
- ・二酸化炭素排出量削減の為、軽油・ガソリン使用量の削減をすすめます。
  - ① コースの見直しを行い、走行距離の短縮化を図る
  - ② エコドライブ
  - ③ 積込み時のアイドリングストップ
  - ④ 燃料等ゲーターの把握
  - ⑤ 車両点検の徹底
  
- ・二酸化炭素排出量削減の為、電気使用量の削減をすすめます。
  - ① エアコンの温度設定（夏季28℃ 冬季20℃）の厳守
  - ② 蛍光灯等不用照明器具の消灯
  - ③ 事務所窓ガラスに光熱フィルターを装着
  - ④ エアコン清掃の実施
  
- ・水資源節約の為、社員全員で節水に努めます。
  - ① 洗車水・手洗い・洗濯時の節水
  
- ・環境影響を緩和する為、グリーン購入を推奨します。
  - ① グリーン購入の推進
  - ② コピー用紙の裏紙使用

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物処理委託基準の遵守 産業廃棄物管理表の管理義務 産業廃棄物管理表(マニフェスト)の備え付け	遵守

### 2 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

平成 22 年度の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は過去 5 年間ありません。

## 7. 許可の概要

### ■産業廃棄物収集運搬業許可■

- ・岡山県 3301012452 許可年月日 平成 21 年 1 月 31 日  
有効期限 平成 26 年 1 月 30 日

〈取扱産業廃棄物の種類〉

燃えガラ・汚泥・廃油・廃プラスチック類・木屑・ゴム屑・金属屑・  
ガラス屑コンクリート屑・陶磁器屑・がれき類

- ・岡山市 8310012452 許可年月日 平成 21 年 1 月 31 日  
有効期限 平成 26 年 1 月 30 日

〈取扱産業廃棄物の種類〉

燃えガラ・汚泥・廃油・廃プラスチック類・木屑・ゴム屑・金属屑・  
ガラス屑コンクリート屑・陶磁器屑・がれき類

- ・倉敷市 1000012452 許可年月日 平成 21 年 1 月 31 日  
有効期限 平成 26 年 1 月 30 日

〈取扱産業廃棄物の種類〉

燃えガラ・汚泥・廃油・廃プラスチック類・木屑・ゴム屑・金属屑・  
ガラス屑コンクリート屑・陶磁器屑・がれき類

### ■一般廃棄物収集運搬業許可■

- ・岡山市 第 4003 許可年月日 平成 22 年 4 月 1 日  
有効期限 平成 24 年 3 月 31 日

### ■金属屑取扱業許可■

- ・岡山県 185 許可年月日 昭和 57 年 3 月 30 日

### ■古物商許可■

- ・岡山県 7211300008904 許可年月日 昭和 57 年 3 月 30 日

### ■計量証明事業登録■

- ・岡山県 第 2-0154 号 登録年月日 平成 20 年 3 月 6 日  
40t トラックスケール

収集運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車	…4 台
	塵介車	…2 台
	1.5t フォークリフト	…1 台
	2t フォークリフト	…1 台
	3.5t フォークリフト	…1 台
営業車	マーク II 他	…5 台

## 8. 受託した産業廃棄物の処理量

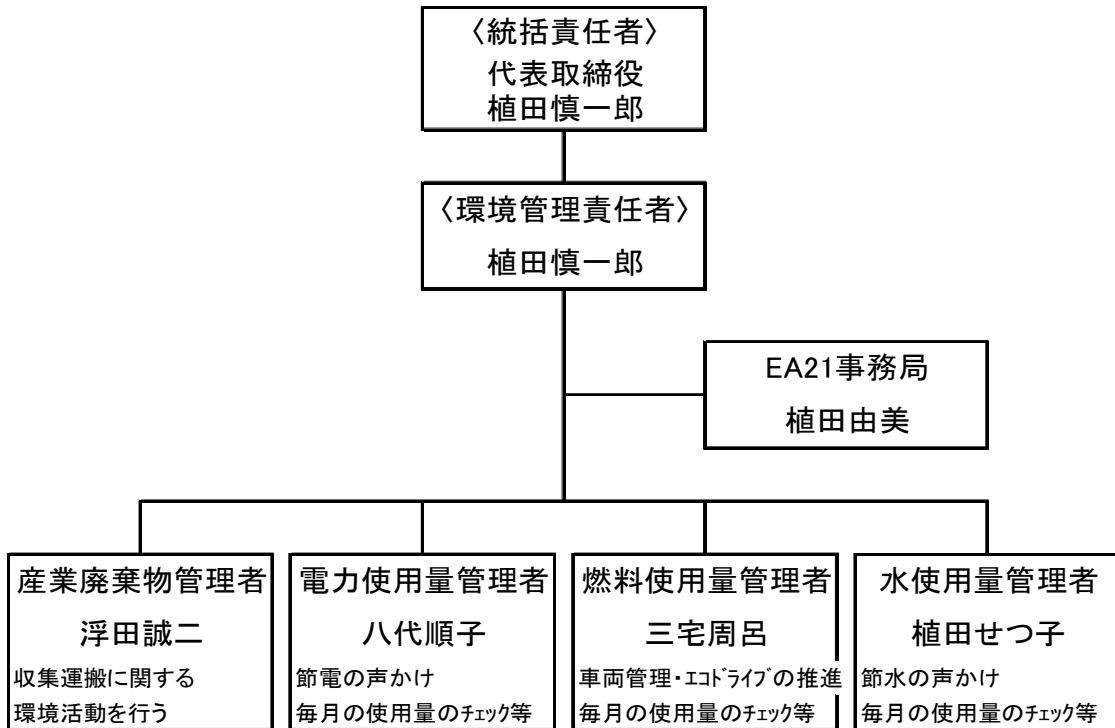
平成 22 年度（平成 21 年 9 月～平成 22 年 8 月）

処理方法等 収集運搬	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
	紙屑	再生利用	72.22
	金属屑	再生利用	5.33
	鉄屑	再生利用	115.46
	発砲スチロール	再生利用	0.202
	がれき類	再生利用	333
	廃プラスチック	埋立	40.275
	ガラス屑	埋立	94
	木屑	再生利用	54.645
	廃油	再生利用	0.93
ゴム屑	再生利用	0	
収集運搬量合計			716.062

## 9. EA21 推進体制

《組織図及び実施体制》

図 1



役職名	
代表取締役	環境管理責任者を任命する。 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源を準備する。 環境方針を制定する。 環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い必要に応じて改定を指示する。 環境目標・環境活動計画及び環境活動レポートの承認をする。
環境管理責任者	EA21の要求事項に適合したシステムを構築し、維持を確立する。 苦情・要望等の処理全般。 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施。 環境目標及び環境活動計画の策定。 環境活動レポートの作成。
EA21事務局	事務局として環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する実務全般を行う 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認をする。 教育・訓練計画の策定を実施する。 環境文書及び記録の作成と管理をする。
各部門管理者	自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び責務を負い、パフォーマンスの向上を図る。 環境目標及び実施項目に対する問題点の是正処置を実施する。

10. 代表者による全体の評価と見直し

環境管理責任者報告		
No.	項目	報告内容
1	環境目標の達成状況	二酸化炭素排出量、廃棄物排出量は削減達成できているが、水資源の投入量が増加している。
2	是正及び予防処置に関する情報	社員に節水をよびかけている。
3	法規制等に関する情報	特になし
4	その他、必要な情報	特になし
5		

代表者の指示事項				
No.	項目	変更の必要性		指示内容
		あり	なし	
1	環境方針		○	
2	環境目標		○	
3	環境経営システムのための組織		○	
4	その他、環境経営システムに関する要素		○	